



チアが好き

遊び、バイト、みんなで練習している方が楽しい



大分市一木にある日本文理大学のチアリーディング部は、大学構内に専用体育館を持つ全国でも有数の男女混成チーム。柿田コーチのもと練習を重ね各大会で好成績が続いています。勝てるチームが作られる秘訣、男女混成チームが持つ面白さについて、梅本福太郎さん、桑原麻帆さんのお二人にお話して頂きました。

チアリーディングは女性だけのもの？

桑原 「【チア】には、「元気」「応援」という意味があります。「リーダー」とは「導く人」という意味ですから、「チアリーダー」というのは男女関係なく、観客の皆さんの応援をリードするというものなんです」



アリーダーに憧れたんですが、今は競技としてのチアが大好きです。精神的にも肉体的にも辛いところがたくさんありますけれど」

梅本 「約百年前にアメリカで生まれた競技で、もともと競技人口は男女の比率がほぼ同じなんです。16人で構成されたチームが、12m四方の青いマットの上で、2分30秒の競技を行います」

桑原 「高校からチアを始めました。最初は、競技の応援をしているチアの魅力はどこなところ？」

梅本 「大学に入るまで、この競技のことを全く知りませんでした。体力に自信があったので、力業が最初から得意でしたが、外国の選手のパフォーマンスを見ると、まだまだ凄い技がありますね。チアの競技は、一人でも気が抜けた演技をすると駄目なんです。厳しい競技ですが、大会に出て観客の皆さんから歓声を貰うと、『もう一度やりたい！』という気持ちが湧いてくるんです」

自分に厳しく

桑原 「健康には気をつけています。風邪ひとつでも、メンバーに迷惑を掛けてしまいますから。交通事故にも十分気をつけないと。自己管理がとても重要なんです」

九州大会四連覇の秘訣は？

桑原 「自分がやるからには良い結果を残したいという何よりも強い気持ちを持っていきます。人に強制されるのではなく、自分が目指しているからこそできることなんだと思います」

先入観を乗り越える

梅本 「入部して、しばらくの間はチアをやっているというのを家族に伝えていませんでした。『頑張っているから』と言うだけで。数ヶ月経って、テレビで競技会の様子が放送される時に、『とにかく放送を見てくれ』と連絡しました」



練習風景



その思いは通じましたか？

梅本 「『すごいなあ』『がんばってるんだなあ』』と言ってくれました。頑張っている姿を見て貰えば、チアをやっている自分のことを必ずわかってくれると思っています。嬉しかったですね」

男女混成・強さのワケ

桑原 「男性がいると、チームにパワーがあるので、ダイナミックな演技が出来るんです」

梅本 「男は縁の下の力持ち。女性が目立った方が綺麗だと思いますし、目立たせてこそ男です」

男女で意見が対立することは？

梅本 「ありますが、『チアが好き』『良いものを作りたい』という同じ目標をもっていますから、ちゃんとまとまれるんだと思います」

桑原 「厳しい練習を乗り越えていく中で、強い信頼が生まれています。青春してますよ！」



かかとに窪みがある専用シューズ

